色々なタイプがあります「ニセ警察詐欺～だまし文句集～」

はじめから 警察とは限りません！



はじめは民間企業や公的機関等を装い、あたかも本当に発生した被害やトラブルを演出し、警察に「被害届を出してほしい」「相談してほしい」などと申し向け、「このまま警察に転送します」とか「あとで改めて警察から連絡があります」というニセ警察サギに移行するパターンが多数確認されています！



よくある手口の例

～ トクリュウはあの手この手で「ニセ警察」につなぎます ～

①郵便局員・配送業者を装う



「知らない」と答えると「個人情報が漏れている」と、警察に話すように言われ…。

②百貨店・量販店店員を装う



「知らない」と答えると「個人情報が漏れていて危険。警察につなぎます」等と言われ…。

③自動音声ガイダンスから誘導



電話に出た人を不安にさせて、指定の番号を押すとニセ警察官との通話へ誘導。

「身に覚えがない」と言わせて、とにかく

ニ セ 警 察 へ！



④銀行員・銀行協会職員を装う



口座の保護を理由にカードや暗証番号を聞き出すケースも。

⑤携帯電話会社の職員を装う



弁護士役から損害賠償を請求されるケースも。

⑥官公庁の職員を装う



公的機関からの連絡をきっかけにニセ警察官やニセ検察官につながることも。

被害に遭わないために

こんな言葉には注意

- ○あなたの個人情報が漏れています
- ○あなたのカードが不正利用されています
- ○あなたの口座が犯罪に使われています
- ○身の潔白を証明する必要があります
- ○捜査に協力しなければ逮捕ですね など



国際電話番号による特殊詐欺が多発中！

今こそ対策を！

携帯電話には、
警察庁推奨アプリ



固定電話には、
国際電話不取扱受付センター



警視庁匿名・流動型犯罪グループ対策本部